

算数の授業を参観させていただきました。1時間の授業では、研究実践された成果は残念ながら、見ることは難しかったです。しかしながら、子供たちは、先生の問いに対して、懸命に応えようとしていました。今日の算数の時間で、子供たちのハテナは、沢山溢れていました。残念ながら、教師主導で、教師が導きたい考えの児童のみ、意見を取り上げられて、みんなの学びになっていたのかは、疑問でした。教えなければならない事は実は少なく、教師はどう問うかが、これからは、大切になるのではないのでしょうか？

- 1 →授業はやっぱり難しいですね。児童主体にしようとするとなおさら…。教師の「問い」の発し方、これからも追究していきます。

素晴らしい発表でした。実践した先生方が自らの言葉で、区内やさらに広い公立学校の、腰の重めな先生たちの質問・不安に答えてほしいと願っています。お疲れ様でした！ 蓑手

- 2 →ありがとうございます。
「まずはやってみよう」と思ってもらえるような実践をこれからも積み重ねていきます。

教育委員会と校長先生が、バンバンやってくれ！と太鼓判を押してくれれば、きっと何か生まれますよ！

- 3 →杉並区教育委員会や杉並の校長先生方は、先生方のチャレンジを応援しています。一緒に頑張りましょう。

今日のパネルディスカッション、とても面白かったです公立学校でもできる!と思います。校長先生が認めさえすれば。

- 4 →今の制度や現状の中でもできることはたくさんあるはずです。一緒にチャレンジしていきましょう。

社会が変わり、オルタナティブ教育から学ぶべきことはかなり多くなってきていると思います。イエナの異年齢、ブラックアワー、ワールドオリエンテーション型の学びなど、公立でも認められることに期待しています。ありがとうございました。

- 5 →公立学校でもできることを、一歩ずつ着実に取り組んでいきます。一緒に頑張りましょう。

とても楽しかったです。子どもが主体的な新しい学び、進んでいくとおもしろいと思いますが、学年が進んで進学、受験の時、どうなのか、ちょっと心配です。

- 6 →1つの課題ですね。児童の主体的な学びを推進しながら、教科の見方・考え方がしっかりと身に付く学習にしたいものです。

ありがとうございました。自主的学びの後追いフォロー、学びたくないところはどのようにフォローされるのか？教えていただきたいです。

- 7 →悩ましいですね。児童の興味・関心がすべて同じではないですから。その子にあったタイミングを探すのか、ポイントタイムでその必要感をもたせるのか…実践あるのみですね。

学び、授業を変える前に、社会全体の構造転換をしないと学校が世の中から乖離してしまう。

- 8 →その通りかもしれませんね。私たちにできることから一歩ずつ…ですね。

やればやるほど先生たちは大変になりますよね。だからやらないとはいいいませんが。

- 9 →そうですね。効率や働き方改革も同時に考えていく必要がありますね。構造転換には、「まずやってみる」が大切だと思いました。杉三小の取り組みをまず真似してみます。

- 10 →「まずやってみる」その発想が素晴らしいですね。

スクリーンのコメントがとても良かったです。質問に対する答えを、ぜひお聞きしたいです。学びの構造転換は難しそうですが、できるところからやっていきたいです。

11 →「できるところから」私たちもその発想を大事にしています。一緒に頑張りましょう。

学びの構造転換だけではなく、人や、設備、行財政の構造転換とは何かを考えるきっかけをいただきました。教師のやりやすさではなく、子どもの学びやすさをという考え方に、心が動きました。本日伺った教育を実現するためには、私が築いている教師観とのギャップを感じそうです。また、評価への考え方も新たに学びました。ここからの10年先に向けた教育に携われることがワクワクしてきました。

12 →教師の考え方を变えるのは、きっと簡単ではないと思います。

でも変えていかないといけないはずで。

「わくわく」は本校の学校経営のキャッチフレーズです。ぜひ一緒に頑張りましょう。

学びの構造転換はこれからの学校教育に絶対に必要です。私は勤務校でやらせる学習をなるべく排除して自分なりに進めています。前例踏襲、一斉一律を卒業するためには同時に何かを捨て、時間を確保することが絶対に必要です。同時並行で進めて学校改革を進めてほしいです。

13 →本当にその通りですね。まずは自分が考えたことを信念をもって、

取り組んでいくことから始まりそうですね。何かを捨てる発想も大事だと思います。

三小の研究非常にチャレンジな取組でした。自校をかえりみると全くその土壌がないので、悲しくなりました。今学校では、〇〇スタンダードを作ろうとし、いかに全ての教室で同じように教えるかを考えていて、全く次元が違ふと感じました。さあ、自分に何ができるか。

14 →本校にもスタンダードはあります。この辺りを見直すことも、

構造転換につながりそうですね。「自分に何ができるか」…素晴らしい発想です。

学びの構造転換、PBLなど魅力的な実践のことを、多く知れて良かったです。時間をしっかりとかけて、探求的な学びを進められる体制ができればな、と思います。次期学習指導要領も、もしかするとより探求的な学びを重視する方向にシフトするかもな、と思いました。

- 15 →次期学習指導要領に、「探究」はきっとより期待できるのではないかと思います。学校によって環境は違うので、それぞれの学校で実践を増やしていきたいですね。

協議スタイル良かったです。意外と4人は多く、2、3人で良かったと思います。話が浅くなりがち。構造転換に前向きで「やったけど、やっぱり難しいですよね」みたいにならずに「もっとできる」という方向だったのが、いい研究だったのだと思いました。

- 16 →ありがとうございます。「もっとできそう」これは実感です。一緒に実践を重ねていきましょう。

公立でも規模や施設に差があります。縦割りで何かに取り組むのはなかなかハードルが高い場合もあります。学び方を変えていくことは大賛成です。主体的に取り組まないと失敗するチャンスがなくなってしまうので。杉三小の挑戦を今後も学んでいきたいと思います。皆様ありがとうございました。

- 17 →そうですね。学校や地域の状況や特性に合わせて考えていくと、実現しやすいのではないかと思います。

今日はありがとうございました。風越での実践を受け、公立学校でどんなことができるのか、可能なのかをもっと知りたいです。また、1年生の学びの構造転換...どうしたらいいかと日々試行錯誤しながら悩んでいます。ぜひアドバイスをいただければ幸いです。

- 18 →私たちも模索中です。私たちは、まずは児童主体の授業にするために、教師の役割は何だろうと考え、たくさんの実践をし、そこから共通するものを見える化してきました。学習指導要領の内容を意識しながら、ポイントタイム等でその内容に触れるようにしました。評価については、まだ全て自己評価という段階までいっていません。低学年は学びの基礎段階でもあるので、学び方を身に付ける導入段階としてとらえ、試行錯誤しています。

杉三小の先生方のチームワークの良さをかんじました。教育は、人と人との関係が豊かである必要があると思います。構造転換的なことは、以前から先生方が自然とやってきたことだと思います。お互いを認め合い学び合いたいです。

- 19 →ありがとうございます。児童主体の学びはずっと前から行われていたと思います。それがなかなか定着しないという現状があるのではないかと考えています。その原因を探りながら有効な手だてを追究していきます。

日本の教育は過渡期に入ってきていると感じます。ただ、それによる教師の軋轢は相当なもので、講義形式で育ってきた保護者の反発、自己責任になり義務教育の均衡性を保つのが難しいこと、参観して1クラスに1人の教師では全く足りていないことなど、難しいことがたくさんありそうです。

- 20 →同感です。そういう環境や条件を変えていくことも同時に目指しながら、日々取り組んでいくしかないですね。

学びの構造転換を本格的に進めていくには、いろいろな構造転換が必要で、そこには教育委員会を動かしていかなければならないものも多々あることが分かりました。働き方改革にも関わってきますね。まずどこからどのように進めていくとよいのか、最終ゴールはどこになるのか、知りたいです。

- 21 →難しいですね、私たちはまずは児童主体の授業へと変えることからスタートしました。ゴールはずっと先にあるのではないかと考えています。少しずつ見えてくるのかもしれない。

音楽の授業を見ました。子供達の声が歓喜に聴こえ、素晴らしい意欲の塊でした。指導者の熱意と子供たちの主体性、そして生の音に涙が出そうでした。自分たちで課題を解決するだけでなく、もっともっとよりよくなりたく、と願い、仲間と創り上げる過程そのものが私たちの目指すものだと分かりました。有難うございました。

22 →ありがとうございます。そういう視点で観てくださって、とても励みになります。

本日はありがとうございました。様々な視点から話が聞けてよかったです。構造転換について、杉並区が言っているイメージは、本日の授業のようなイメージでよろしいでしょうか？山口主任の話をもっと子供に任せてもよいのではないかと考えました。それに対して、授業は教師が枠を決めている場面も見られました。このあたりは現場では指導事項があるので、現場の声から作る必要があると思います

23 →観ていただいた授業がすべてではないと考えます。

また100点満点の授業などありえないとも感じています。

「もっと子どもたちに任せる」そういう視点が大切だと思います。

一緒に試行錯誤しながらよい授業を目指しましょう。

今年度学びの構造転換を授業じっせんで行ってきました。が、構造転換とは一体何なのか、どうしたら構造転換になるのかが、教員の中で一致していません。何を大切にしていればよいのでしょうか。また、学びの構造転換を意識した授業を互いに見合った時、どんな視点で授業を見て、協

24 →私たちは山口裕也先生から「活動あって学びなし」にならないように、「3+1ステップ」という考え方を学びました。

簡潔に示すと、ステップ1「自己選択・自己決定」、ステップ2「見方・考え方を広く深く働く条件を整える」、ステップ3「学習評価を個別化・多様化する」、プラス1「学習や生活の環境を児童に委ねる」です。

学びの構造の転換の妨げは私たち自身だと思います。そして同僚であり、先輩であり、上司でもあります。さらに学習者、保護者、地域も味方ではない場合が多いです。日本の教育のあり方をどこからどうやって変えていけるのかずっと考え実践してきましたが、なかなか手強いことですね。

25 →そうだと思います。それでも様々なことを考え、実践されてきたことに価値があるのですよね。私たちも同じように、授業を変える、教師を変えることから始めています。共に頑張りましょう。

総合のような学習だとやりやすいと思うのですが、算数など学ぶ内容が決まっているものについて、探究型でやりたくても時間とのたたかいになってしまうような気がします。でも、できるところから取り組みたいと勇気をもらった研究発表会でした。

26 →全く同感です。私たちもいよいよ次年度、総合的な学習の時間での取り組みを始めます。

一人一人に合った指導は目指すべきものだと思います。ただ、今日の授業を見る限り、ワークシートや個々の学びを見ていくのは仕事をふやしているだけなのかと思いました。慣れるまではしょうがないのでしょうか。時間の限りやってみたいと思いました。

27 →悩ましいところですね。児童一人ひとりをしっかりに見取るためには時間と手間がかかります。学級の人数が変わらない以上、そこを工夫していくしかないと思います。

学習展開案という発案よかったです。ただ、枚数なのではなく、中身が重要だと思います。わたしは逆にこれだけは伝えたいと思うことがある時は指導案に長く入れてしまいます。高い専門性と、自分の信念を持つことが教師の強みなのかなと思います。

28 →ありがとうございます。

私たちは「見やすさ」「分かりやすさ」「簡潔さ」にも重点を置きました。高い専門性と信念…同感です。

公立学校を客観視しつつ、学びの構造転換、このテーマに学校として取り組んでいることに敬服します。抜本転換ではなく、現行制度上でできること、その通りですね！多様な教育の在り方が認められる社会になっていくことじゃないかなと考えてます。今日の研究会は、一分も眠くならなかったです★研究会の構造転換、素晴らしいかったです！

29 →ありがとうございます。パネリスト、ファシリテーター、そしてフロアの皆さんがそれぞれの思いをもって参加してくださった成果だと思っています。

パネルディスカッションも構造転換!あっという間で楽しくお話を聞くことができました。風越学園のシステムをもっと学びたいと思いました。そして、公立学校に取り入れられることを考えていきたいです。本校も子供の学びと先生方の意識が変わって来ています。令和の新しい学校が楽しみになりました。ありがとうございました。福田先生さすがでした！(森賀校長のファンより)

30 →ありがとうございます。みんなで様々な実践を持ち寄って、これからも情報共有して刺激合えるといいですね。